

侍 SAMURAI

福地さんを讃える！

まほろば主人 宮下周平



あり、訴訟でもあるのだ。

一町民にとっては、「馬鹿な輩、町の恥辱」と映るであろうが、それはとんでもない誤解であり、不見識だ。愛国愛民のための大義、こよなく白糠の街を愛するが故の己むに己まれぬ行為だった。町の誰が知ろうぞ。国の誰が知ろうぞ。



白糠町議員の福地裕行さんは、ある高名な発酵学博士との交友も永く、私もその末席を穢しつつ20年にはなろうか。そのお話会がある度に、あの白糠町から札幌に5時間かけて、駆けつけるのである。その真摯な態度と姿勢には、胸打たれるものがある。

長いお付き合いの中で、天然の生蜂蜜を卸して戴いたりして、恩恵を被るばかりであった。今の世には、見受けられない謹厳実直を、絵に描いたような気骨の方で、現代に生けるが如き侍の風であった。しかも、内面は、温情に満ち機微に富み、あたかも藤澤周平氏の時代小説から飛び出したような義に厚い人情家で、涙脆い好人物である。

その彼が、先の九月、突然議会においてノーマスクで物議を醸し、遂には「議員辞職勧告」を受けた、という全国放送のTVニュースが飛び込んで来て、一躍時の人になったのには、度肝を抜かれた。

兎に角、我慢強い福地さんも、不正不義の数々に、まかりならぬと、堪忍袋の緒が切れたのであろう。これは、赤穂浪士の刃傷沙汰のように映るのは、私ばかりでないだろう。

彼は、保育園でも中国語を教えるほど親中の白糠町の町政に盾付いたのである。（「コロナと生きる」42p参照）ノーマスクの行為は、町内争議の枠でなく、国政や世界のウイルス・コロナ騒動への抗議で

名誉もイノチも顧みないで、一身を投じた福地氏こそ、新渡戸稲造が唱え、世界に絶賛された「武士道」実践の、現代の侍なのだ。彼こそ、千度讃えられるべきも、蔑まれる一辱もない。

道内のみならず、道外より、福地議員への賛同支援の声々が集まっている。それは、驚くばかりの急進的拡散力で広がっているのだ。虚構のコロナ禍を打ち砕こうとする良識ある国民の波が、今道東に押し寄せようとしている。

正に、今こそ、福地氏の勇気を無にすることなく、起死回生の街と道の復興、国と世界の再生を望むや切なるものがある。更なる福地氏の健闘と皆様の支援活動の拡がり、ここに望むものです。

（まほろば各店に、カンパ箱を置かせて頂いております）

ノーマスク宣言者

- ・酸素欠乏症は命に関わる重大な症状
- ・マスク着用は感染拡大防止に全く役に立たず、むしろ有害
- ・子どもにマスク着用は虐待、拷問、体罰
- ・マスクの強要は犯罪
- ・刑法第223条 3年以下の懲役
- ・ノーマスクは許可を得る必要はありません！
- ・全国民、私達に着用するかどうか決める権利と自由が日本の最高法規憲法で保障されています

マスクの同調圧力と 健康被害に警鐘 白糠町 福地裕行議員の 名誉回復を！



提出先：白糠町、白糠町議会議会事務局
作成者：福地議員を応援する会 道東

■ 以下より訴状をご覧ください
<https://hanwakukikin.jp/pdf/mask-030830.pdf>

活動詳細

マスク強いられる苦しさを行動で代弁 発言禁止・退席処分の取消を求める

令和3年7月、北海道白糠郡白糠町の福地裕行議員は、マスク着用を強いられ息苦しい生活を送る人々の憂いを、マスク不着用という行動で表現して議場に入りました。富田忠行議長から発言禁止処分を受けたため、口の部分を四角く切り取ったマスクを着用しましたが、議会からの退席処分を受けました。

そこで、同処分の取消しと、議員として発言の機会を奪われた損害賠償を求めて白糠町を提訴しました。

同氏の行動は、決して奇をてらった反発ではありません。マスクの有害性を指摘する科学的根拠が多数存在するという知見に基づいたもので、子どもにまでマスクの着用を強いる新型コロナウイルス対策の在り方やマスクの着用による健康被害に疑問を投げ掛けたものです。

マスクは無益で有害 着用強いる法律なし

マスク着用は、感染症対策として無益どころか、極めて有害です。すなわち、「鼻呼吸こそが天然のマスク」（元岡山大学病院・岡崎好秀）と言われますが、**マスクをすると呼吸が苦しくなって口呼吸になりやすく、むしろウイルス侵入の原因となり、感染拡大につながります。**コロナ禍の収束が見通せない今だからこそ、**鼻呼吸を徹底させて免疫力を高めるためにも、マスクを外すべきです。**

また、**新型インフル特措法4条1項**には「**新型インフルエンザ等対策協力努力義務**」が定められているにすぎず、**法令上はマスク着用義務はありません。**（木原功仁哉法律事務所 HP より）

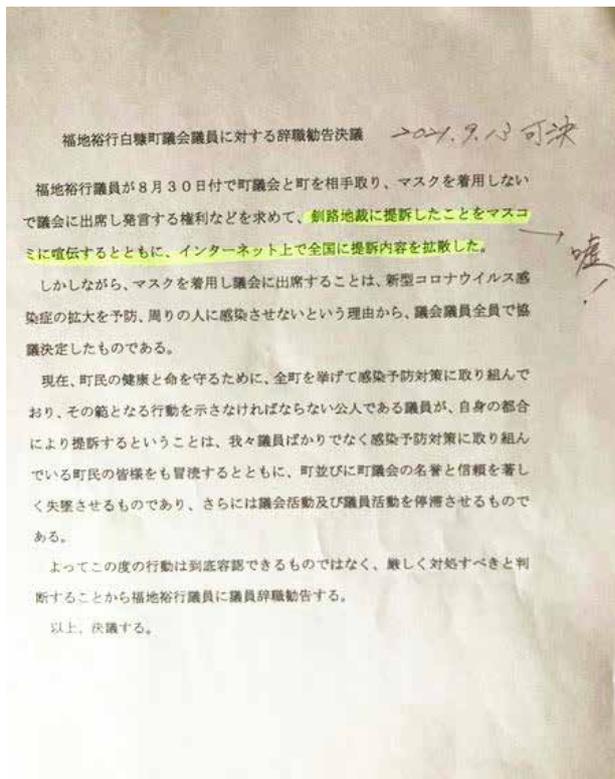
※『木原くにや通信』2021年8月第4号より
<https://kihara-law.jp/activities/pdf/news04-030831.pdf>

※フリーペーパー『湘南える』2020年11月号より https://shonan-el.co.jp/back-number/back_number/el-27/



ません。同氏が発信していた情報といえば、マスクによる健康被害や12歳以下の子どものまでワクチン接種を推奨する現状への危惧です。可決された勧告では、同氏を**あたかも反マスク・反コロナの扇動家や戦犯のように吊るし上げ**、コロナ禍の真実を闇に葬ろうとしています。

※嘘まみれの辞職勧告決議



辞職勧告の原本 書き込みも福地議員本人によるもの

■活動立ち上げの背景

福地氏の行動は、住民の声に寄り添い想いを代弁した勇氣あるものです。その姿勢に感銘を受けて、マスクの着用やワクチン接種をめぐる同調圧力など、コロナ禍で煩悶する有志が集いました。同氏の**名誉を回復し国が主導する嘘と欺瞞に満ちた新型コロナウイルス対策を暴く**ために起ち上げたのがこの企画です。白糠町で6期に渡って議員を務めてきた同氏に対する地元からの信頼は厚く、「よくぞ立ち上がってくれた」との声も聞かれます。

激励の訪問や感謝の手紙 続々と！

ある日、福地議員が議会へ登院すると、それを待っていたかのように一人の女性が「**ありがとう。頑張つて！**」と声をかけ去って行きました。道内の伊達市

※インターネット・各種 SNS より抜粋

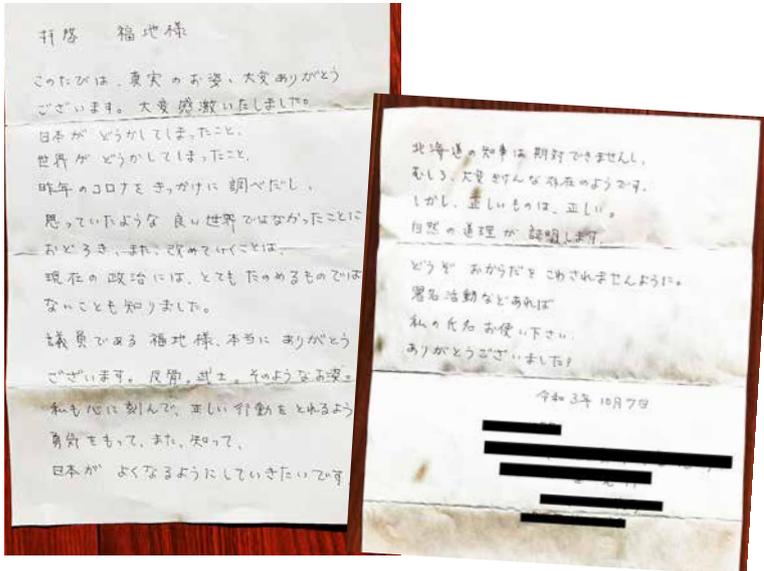
情報操作した扇動家として吊るし上げ、議員辞職勧告を強引に可決…傲慢な議会とメディアの虚飾を許すな！

9月13日、白糠町議会は福地議員に対する議員辞職勧告を強引に可決しました。ところが、おかしなことに、この辞職勧告決議は、そもそも、マスクの不着用を争点としたものではありませんでした。「議会を提訴するなどけしからん、見せしめに懲らしめてやろう」といった呆れたもので、議会に提出された同氏への辞職勧告決議案では「損害賠償の提訴を喧伝し、インターネット上に拡散。感染予防に取り組む町民を冒涇した」と指摘されています。

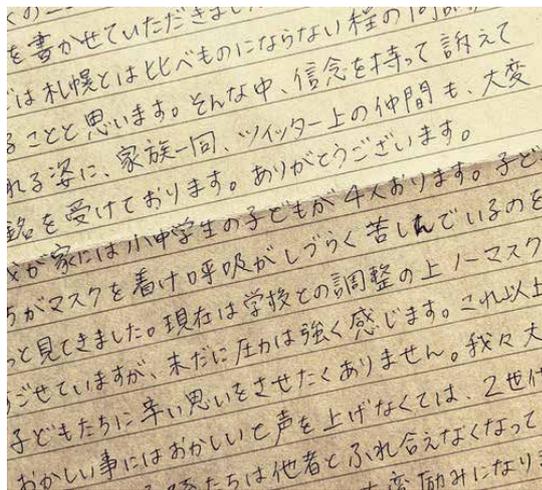
しかし、これは全く**事実無根の言いがかり**にすぎ

から支援のための募金を手に日帰りでかけつけた方や、札幌から夜行バスに乗り込んで激励に訪れた方もいます。感謝や激励の手紙も多数寄せられています。

※ 道内在住の方から感謝と激励の手紙



小さな子どもを持つお母さんからも感謝の手紙が届きました。子どもにマスクをつけさせることにためらいがあること、同調圧力に苦しんでいることなどがしたためられ、「勇氣ある行動が大変励みになりました」と締めくくられています。



■皆様からのエールで勝訴を後押し ぜひ署名・募金にご協力を！

いただいた募金は訴訟費用（南出喜久治・木原功仁 哉両弁護士の出張費用等も含む）およびワクチンパスポート導入反対・子どもへのワクチン接種中止を求める啓発活動にあてさせていただきます。

可能な範囲でぜひご協力お願い致します。

経過を毎月レポート配信にてお知らせするほか、不定期で福地議員からメッセージを発信します。

＊第1回口頭弁論は11月8日(月)

追って経過をご報告致します。

■団体プロフィール

道東釧路地方の有志が中心となり、2021年、「覚醒！道東 明るい未来をつくり隊」を結成。ワクチン接種やマスク着用を求める同調圧力と闘いながら、コロナ禍で個人の尊厳や子どもの健康と人権を守る活動を続けている。軸とするのは、①ワクチンパスポート廃止②子どもへのワクチン接種中止である。反マスクの声をあげた福地議員の姿に勇気づけられ、同氏公認のもとに「福地議員を応援する会」を設置。



白糠町 福地裕行町議へ

初めまして、神奈川県二宮町在住の大学の教員をしている坪内俊憲です。

私たちも、子供たちからマスクを外させること、消毒をさせないこと、三密を避けさせないことを教育委員会、平塚市役所、二宮町役場などに提出してきています。子供達をマスク、消毒、ワクチン、検査から守る活動をワクチンについて考える会、ママエンジェルやるじゃん平塚、子供の笑顔を守る会を結成して展開しています。自治体の反応は全くひどいものですが、中には協力してくれる市議、町議が少しずつ出てきています。私たちにとって、福地裕行町議の行動は非常にありがたく、市長、教育委員長宛の要望書、請願書の参考にさせていただいています。

日本全国の子供達からマスクを外させる活動をしているお母さん、お父さんにとって福地裕行町議の行動はシンボルです。たくさんの人が応援していますので、ぜひ、町議会そのものからマスクを外させてほしいと思います。明日も平塚でお母さんたちと要望書、請願書作成会議です。みんな福地裕行町議の応援団です。子供達のために、未来のために頑張ってください。

坪内 俊憲

星槎大学 共生科学部 教授